

平成 30 年 5 月 17 日
(公財)横浜市緑の協会
よこはま動物園

東京都井の頭自然文化園から ツシマヤマネコが来園します



来園する「エビソウ」(オス)

よこはま動物園ズーラシアでは、長崎県対馬にのみ生息するツシマヤマネコの保護増殖事業に参画しています。この事業は環境省が策定した「平成 29-30 年 ツシマヤマネコ繁殖(移動)計画」に基づき、環境省と(公社)日本動物園水族館協会が進めているものです。

この事業に寄与するため、平成 30 年 5 月 23 日(水)に東京都井の頭自然文化園から、ツシマヤマネコのエビソウ(オス・推定 13 歳以上)が来園します。

なお、今回入園する個体は非公開施設で飼育します。

ツシマヤマネコの飼育下繁殖事業について

保護増殖事業に基づき以下の目的で実施しています。

- (1) 対馬の環境が改善し、生息地で安定して生息が可能になるまでの生息域外での種の保存
- (2) 野生個体群の保護活動の補完(野生復帰など)
- (3) 科学的データを収集、解析し、生息地でのツシマヤマネコの保護対策への応用
- (4) ツシマヤマネコの現状について全国的に普及啓発を行うことで、野生個体群保護を推進すること

※ 搬入当日の取材はご遠慮ください。取材用に写真等を提供しますので、ご連絡ください。

※ 東京都と同時発表しています。



指定管理者:(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 渡辺 武志 Tel 045-959-1298

【参考資料】

■今回来園する個体について

愛称：エビソウ	平成 16 年 12 月 6 日	対馬市上県町にて保護
	平成 29 年 12 月 2 日	九十九島動植物園から東京都井の頭自然文化園 に来園
	平成 30 年 5 月 23 日	東京都井の頭自然文化園から来園

■ツシマヤマネコについて

和名	ツシマヤマネコ
英名	Tsushima Leopard Cat
学名	<i>Prionailurus bengalensis euptilurus</i>
分類	食肉目 ネコ科
生態	長崎県の対馬にだけ生息する野生のネコです。島の住民には「トラヤマ」と呼ばれています。東南アジアから中国・朝鮮半島まで広く分布するベンガルヤマネコの亜種だとされています。大きさは普通の飼い猫と同じぐらいですが、耳の後ろの白い斑紋と、太くて長い尻尾が特徴です。対馬の分布は徐々に減っており、絶滅が危惧されています。国の天然記念物に指定されています。
ワシントン条約 (CITES)	附属書Ⅱ 現在は必ずしも絶滅のおそれはないが、取引を規制しなければ絶滅のおそれのあるもの
国内飼育園館	10 園館 35 頭（オス 19 頭、メス 16 頭） ※平成 29 年 12 月 31 日現在
当園飼育頭数	3 頭（オス 2 頭、メス 1 頭） ※今回来園する個体を含まず

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円
- ◆開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）
- ◆休園日：毎週火曜日（祝日の場合は翌日）
- ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間
- ◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住所：横浜市旭区上白根町 1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000